



U字型断面でねじれを防ぎ、
パワーとコントロール性を向上
「X Morph Frame」

断面が四角の「ボックス形状」は自然なしなりが長所だが、ねじれ方向に対してもなってしまうため、パワーロスというデメリットがある。一方の「エアロ形状」は振り抜きがよく、剛性や反発力も高いため、弾きの良さは出やすいが、コントロール性が犠牲になることが多かった。この「X Morph Frame」はU字型の断面。溝の部分がねじれに対して強さを発揮し、かつ、打球時の反発復元力も両立。振り抜きもいい。スピード+コントロール性を実現する新形状だ。

余計な物が入っていない
スウェーデン製

カーボン原糸を結合させるための余計な樹脂が入っていない『テキストリーム』が作られているのはスウェーデンの工場。一般的にラケットに使われているカーボンシートは、中国でカーボンと樹脂を組み合わせて大量生産されたものを使用しているのだが、この『テキストリーム』は完全に規格化されたスウェーデン製のシートを使用。これにより品質の高さが保障されるのだ。

『XR』は高反応の証

ラケット名の後に表記されている『XR』はエクストラ・レスポンスの略。それだけ『力が伝わりやすい』、『反応が良い』ということに自信のあるモデルなのだ。また、レスポンスの良さは打球音にも反映されていて“パンッ”といったすごくいい音がする。その音の良さがプレーヤーの気分を盛り上げてくれるはずだ。

ボールのスピードがアップ
打球感がクリア

一般的に、ラケットはスロート部分を強化すると剛性が高くなりボールに大きなパワーをぶつけていくことができる。その最も簡単な解決策は『スロート部を太くすること』なのだが、それでは打球感が硬くなり腕やヒジに悪影響を与えることも。その点、『テキストリーム』を使うと、これまでとほぼ同じモールド(形状)で剛性がアップ。『明確な打球感でスピードボールを打つことができる』のだ。

DATA

『テキストリーム』が使用されているのは、フェース面下部からグリップ上部にかけてのいわゆる、スロート周辺部分。ラケットのその部分を見ると、格子状のシート『テキストリーム』が使われているのが分かる